

熊本

第38回日本学生科学賞中央表彰

主催 全日本科学教育振興委員会
後援 文部省 科学技術庁 環境庁

読売新聞社

協賛 三菱電機株式会社



主な活動地
電話番号
所在地
部員長
顧問
創立年月日
田代周史

球磨郡五木村
〇九六六一三七一三〇三
球磨郡五木村丙七八八一
田中千穂、那須み、藤本昭
山本志保
部长
員長
問
顧
部
所
在
地
電
話
番
號
主
要
概
要

- ・平成六年 熊本県生徒理科研究発表会 環境新聞「木靈」を教職員、地元村民とともに共同発行
- ・平成五年 熊本県科学研究物展示会出品
- ・平成四年 熊本県高等学校総合文化祭出品
- ・平成三年 熊本県生徒理科研究発表会 熊本大会出場
- ・平成二年 熊本県科学研究物展示会 熊本県教育セントラル賞受賞

これまでの活動歴

平成二年に入吉高等学校五木分校では初めて文化系の部活動が誕生した。以来、三年間にわたり「植物の受粉のしくみの解明」をテーマに地道な調査活動を統合し、このほどその成果をまとめあげた。その活動は、マムシグサ(コニャクの仲間)の花と昆虫との関係を追求したもので、じの花は受粉の効率をあげるための仕掛けがあることを発見している。そして、そのことを花のモデルや昆虫捕獲装置等いろいろと自作して立証した。平成六年度は、これまでの試行錯誤で得られたことを基に調査活動にとにかく力を入れていて。その成果が認められ、数々の賞を受賞している。とくに、「科学の甲子園」ともいわれる日本学生科学賞では内閣総理大臣賞といつも最高の賞を獲得しているが、じのことは熊本県における高校生の理科研究活動においても大きな刺激となつた。また、他の高等学校や大学関係の専門家からは群じて研究内容についての賛美の請求や賞賛の言葉をいただいている。なかでも、「花生態学」分野の専門家からは高い評価を受け、大いに注目されている。